

総合的な学習の時間（人権）学習指導案

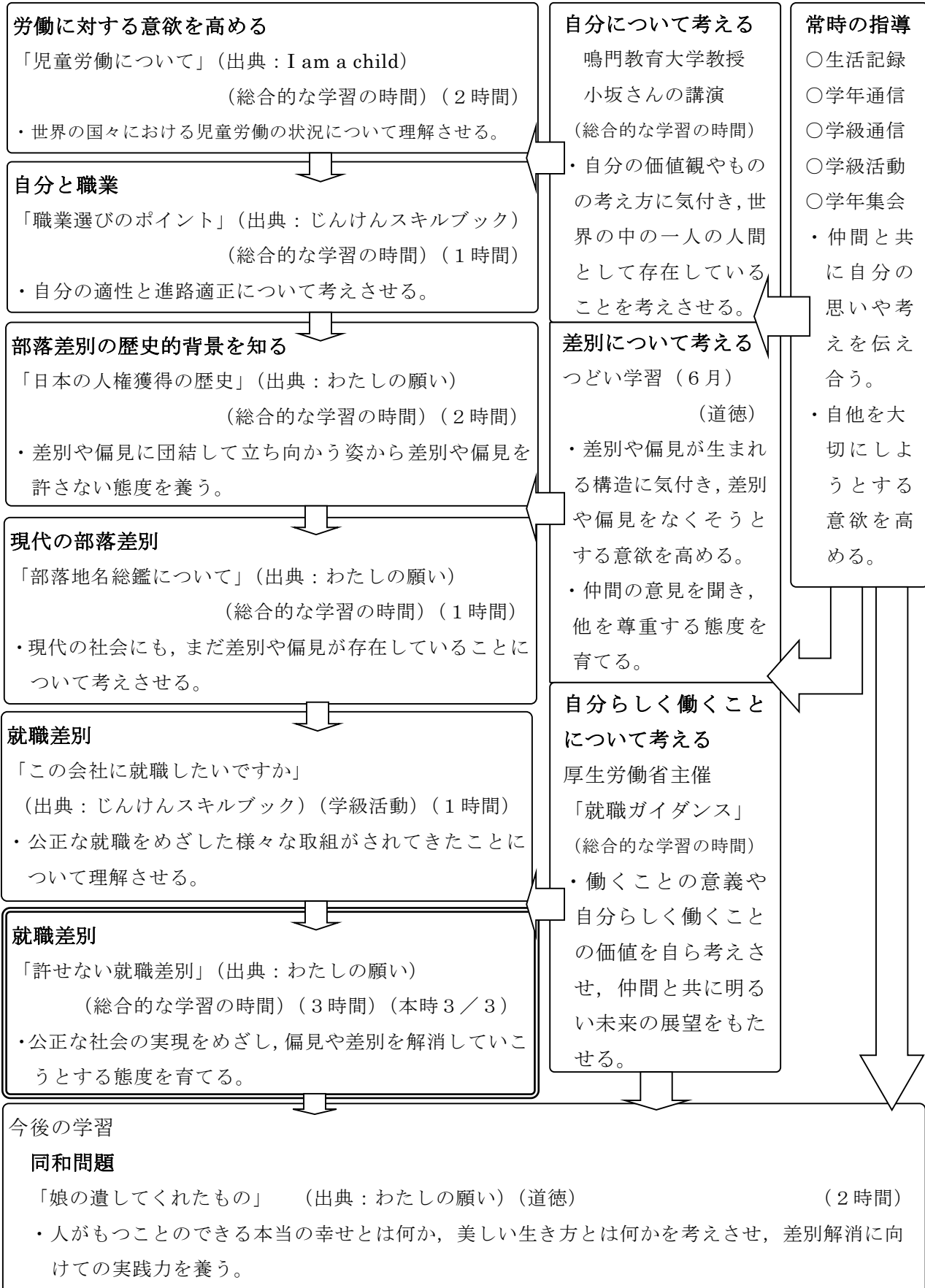
1 主 題 公正な社会の実現をめざして

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

「職業選択の自由」や「就職差別」に関する学習を通して、誰もが公平な立場で職業選択ができる社会の実現をめざそうとする態度を育てる。

4 指導計画（時間）



5 本時の学習

(1) 目標

「就職差別」に関する学習を通して、その不公平さや矛盾を認識し、改めて社会に残る偏見や差別を解消していこうとする意欲を高める。

- (2) 普遍的な学習のテーマ 法の下の平等
個人人権課題名 同和問題

(3) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 就職差別について知る。	○「かつての応募用紙」を見て、答えられないと思う質問項目、自分が採用する立場の時に面接試験で聞きたい質問項目を比べ、就職差別が行われてきたことの不当性について理解させる。 ①
2 答えられない項目とその理由について考え、話し合う。	○かつての就職試験の中にある不公平さや矛盾社会に残る偏見や差別を見抜けるように助言する。 ③
3 公正な社会の実現をめざして、これからの生き方について考え、話し合う。	○これまでの学習を通して、差別選考を自分の問題としてとらえさせ、差別解消への意欲を高める。 ②
4 本時のまとめをする。	○差別や偏見をなくしていくために、自分ができることを具体的に考えさせる。 ②

(4) 評価

- ・「かつての社用紙」から、その中に潜む不公平さや矛盾を認識することができたか。(知識的側面) ①
- ・公正な社会の実現に前向きな考えをもち、差別解消に向けて自分に何ができるかを考え、意欲を高めることができたか。(価値的・態度的側面) ②
- ・自分自身の変容やこれからの生き方について、他者の意見を受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。(技能的側面) ③